

製品名: UBA2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19504**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	UBA2
別名	UBA2; SAE2; UBLE1B; HRIHFB2115; SUMO-activating enzyme subunit 2; Anthracycline-associated resistance ARX; Ubiquitin-like 1-activating enzyme E1B
遺伝子 ID	10054.0
SwissProt ID	Q9UBT2
免疫原	抗血清はヒト Uba2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 591-640

背景

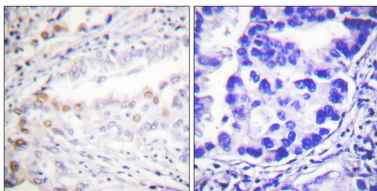
小さなタンパク質 SUMO (SUMO1; MIM 601912 を参照) の付加によるタンパク質の翻訳後修飾、すなわち SUMO 化は、タンパク

質の構造と細胞内局在を制御します。SAE1 (MIM 613294) と UBA2 はヘテロ二量体を形成し、タンパク質の SUMO 化のための SUMO 活性化酵素として機能します (Okuma et al., 1999 [PubMed 9920803])。[OMIM 提供、2010 年 3 月],機能: 二量体酵素は、SUMO1、SUMO2、SUMO3、そしておそらく SUMO4 の E1 リガーゼとして機能します。SUMO タンパク質の ATP 依存性活性化と、SAE2 上の保存されたシステイン残基とのチオエステル形成を媒介します。経路: タンパク質修飾;タンパク質 SUMO 化。類似性:ユビキチン活性化 E1 ファミリーに属する。サブユニット:SAE1 と SAE2 のヘテロ二量体。複合体は SAE2 を介して SUMO タンパク質に結合する。、

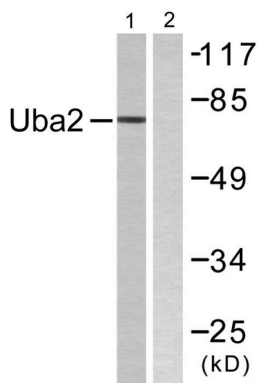
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

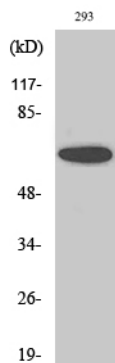
画像データ



Uba2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Uba2 抗体を用いた、UV 5'処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



UBA2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。